

学校番号	学 校 名
20	池田高等学校

学校教育目標	校訓「向学・友愛・錬磨」の下、明るく規律ある学校生活を通して、「知・徳・体」の調和のとれた人間性豊かな、心身ともに健全な人間形成を期すとともに、持続可能な社会の発展に貢献できる人間の育成に努める。	
＜ 教育指導の重点＞ 今年度の具体的な重点目標	重点目標の達成に必要な具体的取組、方策	達成度の判断、判定基準あるいは評価指標
1（学校経営） ◇池田高校の中長期的な将来を見据えたビジョンの明確化と地域連携による活力ある学校づくりの具体的政策の展開。	<p>①学びの挑戦を進めます。 授業改善、少人数指導、進路希望に沿った多様な科目選択の設定、英語検定や漢字検定、体験的な学習等、学びの改革を進めます。</p> <p>②部活動・学校行事・ボランティア活動の挑戦を進めます。 外部人材の活用等、地域と連携し学校の活性化を図ります。</p> <p>③ユネスコスクール推進校として活動を充実させます。 「Global Welfare（地域・国際社会の中でより良く生きる）」をキーワードにESD（持続可能な開発のための教育）を推進し、福祉教育・国際理解教育・環境教育の充実に努めます。</p> <p>④地域連携による活力ある学校づくりを進めます。 学校活性化推進協議会を設置し、学校と地域社会を結びつける活性化策の検討、実施を進め、そのための役割分担の調整を行います。</p>	<p>①生徒及び保護者等を対象とするアンケート結果・卒業生の進路状況。</p> <p>②生徒対象の生活アンケート（迷惑調査）の結果・特別活動での生徒の活動状況。</p> <p>③学校評議員会、学校関係者評価委員会による評価。</p> <p>④学校活性化協議会による評価。</p>
2（研修） ◇全職員による授業改善の取組みと指導力の向上。 ◇いじめや不登校等に対する理解や対応能力の向上。	<p>①授業公開の積極的な実施と教員による相互評価、管理職による授業参観と指導・助言、自己啓発面談を行います。</p> <p>②いじめの早期発見・早期対応に努めるとともに、思春期の子どもの発達課題に対する理解を深め、対応の在り方を学ぶ機会を設けます。</p>	<p>①生徒及び保護者等を対象とするアンケート結果、教員の相互評価、生徒対象の授業アンケート（満足度調査）結果。</p> <p>②生徒対象の生活アンケート（迷惑調査）結果、生徒対象のi-check（生徒自己理解調査）結果。</p>

<p>3 (教育課程・学習指導)</p> <p>◇基礎・基本の定着と学力の向上。</p> <p>◇主体的な学習習慣の確立。</p> <p>◇自ら考える力の養成。</p> <p>◇評価方法の確立と授業改善。</p> <p>◇新教育課程に向けて初期指導の充実。</p> <p>◇ESDに基づく国際理解教育の推進。</p>	<p>①教員相互や生徒による授業評価を行い、授業改善を進めます。</p> <p>②習熟の度合いに応じた分かり易い授業、力がつく授業を実践します</p> <p>③ICTを積極的に活用して、生徒の興味・関心を高めることに努めます。</p> <p>④少人数教育及びきめ細かな個別指導を行います。</p> <p>⑤本校の教育活動を積極的に広報します。</p>	<p>①各種調査(満足度調査、相互授業参観及び講評)研究授業等で授業改善ができたか。</p> <p>②各教科の定める基礎・基本の定着が図られたか。</p> <p>③生徒の授業アンケートの結果</p> <p>④成績の上位者、下位者に対してともにきめ細かな指導が行えたか。</p> <p>⑤各種行事を通して、本校の教育活動の広報ができたか。</p>
<p>4 (生徒指導)</p> <p>◇自己指導能力の向上。</p> <p>◇規範意識の向上。</p>	<p>①毎朝の遅刻指導を行います。生徒会、MSリーダーズによる挨拶運動や、ボランティア活動へ参加します。また、教育相談週間(年2回)を実施します。スクールカウンセラーと連携して生徒理解に努めます。</p> <p>②年間を通してのイエローカード指導を行います。</p> <p>③自転車点検、交通講話、育友会と連携した朝の交通指導を実施します。</p> <p>④携帯電話・スマートフォン安全教室を実施するとともに、朝の登校時から帰りの掃除終了まで使用を制限します。</p> <p>⑤揖斐郡内の小中高校及び警察との連携、情報交換、サポート制度を活用します。</p>	<p>①欠席、遅刻者数の推移・問題行動、いじめの認知件数の増減。</p> <p>②TPOに応じた端正な身だしなみができているか。イエローカードの配付数等。</p> <p>③交通事故件数、不審者被害の減少。</p> <p>④イエローカードの配付数等。</p> <p>⑤必要に応じ他の教育機関等と生徒情報の共有ができたか。</p>
<p>5 (進路指導)</p> <p>◇学習意欲の喚起と学力の向上。</p> <p>◇進路研究と自己の進路目標の確立。</p> <p>◇キャリア教育の充実。</p>	<p>①進路講演会、各種進路ガイダンス等の行事を通して進路意識を高め学習意欲の喚起に努めます。</p> <p>②3年生全員の大学見学・サイエンスキャンプやオープンキャンパス等に参加させ、具体的な進路目標を早めに確立させます。</p> <p>③インターンシップに参加することによって、自己の職業観を確立させ、進路目標を明確にします。</p> <p>④全職員の協力による平常補習、土曜補習(スタディサプリ)、夏季補習を実施します。</p> <p>⑤校外模試の結果について分析を行い、担任指導や教科指導に還元します。</p> <p>⑥就職希望者の進路実現をサポートします。</p>	<p>①アンケート調査における満足度及び進路希望調査。</p> <p>②上級学校への志望理由を確立することができたか。</p> <p>③事前指導・事中指導・事後指導の充実度、生徒による自己評価と総括(事後報告書)。</p> <p>④補習への参加人数と出席状況及びアンケート調査の満足度。</p> <p>⑤進路実現に向けて努力していける学習環境を整えることができたか。</p> <p>⑥就職率100%を目指す。</p>

<p>6（特別活動）</p> <p>◇学校行事の活性化。</p> <p>◇部活動の活性化。</p> <p>◇ボランティア活動の活性化。</p>	<p>①生徒会執行部や各種委員会活動の活性化を図り、より効果的なホームルーム運営が執り行えるよう工夫します。</p> <p>②1年生は全員部活動参加とし、部活動の活性化を図ります。部長会議、活動状況調査を行うことで各部の状況を把握し、表彰伝達によって各部の活動を全校生徒に伝えます。また、中学校との連携を図り、合同練習や指導者の交流等を行います。</p> <p>③MSリーダーズが中心となり、より多くの生徒がボランティア活動に参加できるように、挨拶運動や地域の様々なボランティア活動への参加を推進します。</p>	<p>①生徒会及び各種委員会への事前・事後指導と、反省会の実施。職員へのアンケートの実施、及び問題点についての解決・対応策の提示。</p> <p>②生徒会執行部の各部の視察、及び部長報告会での報告並びに発表。生徒及び保護者等を対象とするアンケート結果。</p> <p>③ボランティア会の登録状況と各種ボランティア活動への参加状況。</p>
<p>7（保健・安全管理）</p> <p>◇自らの健康状態、体力の把握、基本的な生活習慣の確立と健全な学校生活。</p> <p>◇安心、安全な学校づくり。</p> <p>◇校内外の環境美化、環境保護を積極的に推進する生徒の育成。</p>	<p>①各種健康診断を全員が受診し、再検査を要する者は、家庭・HR担任の協力のもと確実に処置をさせます。</p> <p>②家庭と連携し、朝食の摂取、弁当の持参など、健康な食生活の提案と、睡眠時間などの生活リズムの確立に取り組みます。</p> <p>③校舎、樹木、通学路など定期的及び随時安全点検を行い、安全確保に努めます。</p> <p>④非常変災時に備え、学校災害対応マニュアルを全職員が確認し、緊急時には迅速かつ適切な対応をとれるようにします。</p> <p>⑤保健委員会と美化委員会活動を活性化し、熱中症・インフルエンザ対策などの健康管理、教室の環境美化などをポスター等で全校生徒に呼びかけます。</p>	<p>①受診結果報告書の提出率。</p> <p>②保健室の利用状況、ゴミの分別、トイレの使用状況。</p> <p>③安全点検カードによる定期的な点検。</p> <p>④訓練において避難する際の姿勢、心構え。警報発令時での対応、緊急連絡用引渡しカードの確認状況と緊急連絡メールの登録状況。</p> <p>⑤保健だよりの内容および発行回数、ホームページの内容、更新回数。</p>